

案件名	教育振興ビジョン改定(案)について
趣旨	教育振興ビジョンは、「越前市教育方針」に基づき、教育の振興のための施策に関する基本的な計画を定めるため平成22年3月に策定した。 以後、5年毎に改定し、現在は「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第1条の3に定める、教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の「大綱」としてこのビジョンを位置付けている。 本年度が計画の最終年度であるため、総合計画等の各種計画との整合性や、5年間の社会情勢等の変化も踏まえ改定する。
意見提出者数 (件数)	パブリック・コメント 27件 策定委員会等 6件 議会 6件 合計 39件

No	該当する箇所	意見聴取方法	意見の要旨	越前市の回答
1	P3 総論 3基本方針と構成	改定委員会 (令和6年11月5日)	最後の段落に「家庭・学校・地域」とあるが、団体を入れてもらいたい。	最後の段落の「家庭・学校・地域」は、市教育方針を抜粋したものの一部ではありますが、「団体」については、「地域」に包括されていると考えております。
2	P3 総論 3基本方針と構成	改定委員会 (令和6年11月5日)	基本方針に文化財のことも入れてもらいたい。	文化財についても、記載いたします。
3	P7、P11外 各論 I-1 幼児期の教育と子育て支援 I-2 学校での教育	改定委員会 (令和6年11月5日)	写真のキャプションに学校名等は記載しなくていいのではないか。	学校等での取り組みをより身近に感じ、関心を持っていただけるように学校名等を掲載いたしました。
4	P7～P8 各論 I-1 幼児期の教育と子育て支援	改定委員会 (令和6年11月5日)	「学校での教育」の部分には外国人への支援について記載されているが、「幼児期の教育」の部分には記載がない	幼児期の教育における外国にルーツを持つ子への配慮については、(1)人格形成の基礎を培う学びの②方針[特別な支援や配慮]の中で、「母語や日本語の習得が未熟な子どもたちへの支援方法の検討も必要です」

			のではないか。	と言及しています。また、④優先的に取り組む事業中で「母語や日本語の習得に向けた企業等と連携した支援の検討」としていますが、わかりやすい表現にするため、「外国にルーツをもつ」と追記いたします。
5	P7～P8 各論 I-1 幼児期の教育と子育て支援 (1)人格形成の基礎を培う学び -幼児教育の充実-	パブリック・コメント (60代)	保護者(入学～2年生くらいまで)に対して、子どものしかり方やほめ方、接し方等についても啓発できるとよい。	保護者の皆様には子どもの育ちに寄り添う関わり方や様々な課題に関する予防や対応についてご提案できるよう、リーフレット等(乳幼児教育・保育支援センターによる「このみらい通信」、県教委による「家庭教育支援リーフレット」)を活用した理解啓発を行っております。引き続き周知を進めてまいります。
6	P11～P23 各論 I-2学校での教育	パブリック・コメント (60代)	小中学校における教職員の増員や適正な配置をしてほしい。	小中学校の教職員については、主に県費負担職員として県より配置されております。その他に、外国にルーツがある子どもへの対応や気がかりな子どもへの支援、看護師、部活動のサポートなど、多様な子どもたちや学校業務に応じた職員を市より配置しております。今後も子どもたちのニーズや学校の実情に応じた教職員の適切な配置に努めてまいります。
7	P11～P23 各論 I-2学校での教育	パブリック・コメント (30代)	「学校での教育」の中で、金融教育についての計画はあるのか。	中学校では、社会、家庭科を中心に金融教育が実施されております。社会では為替や株式などに関する基礎的な知識、家庭科では支出と収入の関係やキャッシュレス決済などを学びます。
8	P11～P23 各論 I-2学校での教育	パブリック・コメント (40代)	市の中学校と県立高校の入学式の日時が重なることがあるが、ずらすことはできないのか。	越前市では、毎年、学年はじめ休業(春休み)終了の翌日(休日を除く)を入学式の挙行日としております。保護者の方にとっても、大切な行事であることは十分に認識しておりますが、新年度・新学期の始まりにおいて、子どもたちが心身ともにゆとりをもち、円滑に学習をスタートするために、限られた期間の中で学校行事等を調整しております。

9	P11～P12 各論 I-2学校での教育 (1)ともに学ぶ学校づくり- 学習環境の充実 -	教育厚生委員会 (令和6年12月11日)	学校の適正配置についての進捗を1年に1回は報告してほしい。	今後、子どもたちにとって望ましい教育環境について研究してまいります。その状況等につきましては、適宜ご報告したいと考えております。
10	P13 各論 I-2学校での教育 (2) デジタル社会で生きる力を育む -情報活用能力の育成-	パブリック・コメント (60代)	金融教育(資産運用、投資で生活力の向上、リスク、メリット等の教育)を学校でも始めるとよいのではないかな。	中学3年生の社会(公民)において、株式や為替等の仕組みに関する基礎的な内容を学びます。さらに発展的な内容については、高等教育で学習することになります。
11	P13 各論 I-2学校での教育 (2) デジタル社会で生きる力を育む -情報活用能力の育成-	パブリック・コメント (60代)	基礎学力の低下などの課題もクリアできるような施策を実施してほしい。	基礎的・基本的な学力の定着にも大切であり、合わせて子ども一人一人の特性や学習進度等に応じた指導や教材・教具の柔軟な提供・設定を行う「個別最適な学び」が重要です。AIドリルなどICTを活用した取り組みを推進しているところです。
12	P13 各論 I-2学校での教育 (2) デジタル社会で生きる力を育む -情報活用能力の育成-	パブリック・コメント (60代)	タブレット、携帯等の使用のルール作り(ネット依存症がもたらす心身、生活への影響を教える)をしてほしい。	ICT 機器が心身に与える影響について、各学校の保健指導や生徒指導において啓発を行っております。生涯学習・芸術文化課と連携し、「わが家のインターネット10ヶ条」を配布し、家庭での利用についても話し合う機会をもてるよう、働きかけを行っています。市PTA連合会とも連携し、保護者が子どもと家庭で話し合う機会を設ける取組みを進めているところです。
13	P15 各論 I-2学校での教育 (4) 自ら学び続ける力を育む - 思考力・判断力・表現力等の育成 -	パブリック・コメント (40代)	子どもが紙の本を読まなくなっているが、スマホ等で小説や漫画は読んでいる。図書館も電子書籍での貸出を始めるようなので、学校図書館でも対応できるよう、今後	学校では、子どもたちが自ら考え表現する機会の確保に努めています。また、学校図書館では、子どもたちが読書を通して興味関心や新たな視野を広げる環境づくりを行っています。電子書籍につきましては、市中央図書館とも連携しながら、他市町の先行事例等も参考にしつつ、子どもたちが読書に親しめる手立ての一つとし

			の要望としてお願いしたい。	て検討してまいります。
14	P17～P18 各論 I-2学校での教育 (5)可能性を広げ成長を支える - 豊かな情操の育成と生徒支援体制の充実 -	教育厚生委員会 (令和6年12月11日)	校則がこどもの権利や自主性を阻害しているのではないかな。	本ビジョンでは、子どもが自分の意見を言える場や自己決定する機会を増やし、主体性を育む教育を推進しております。校則に対しても子どもたちが自分事と捉え、主体的に向き合おうとする取り組みが始まっているところです。引き続き子どもたちの主体性の育成に向け、取組を推進してまいります。
15	P19～P20 各論 I-2学校での教育 (6)すこやかな暮らしを営むための基礎を養う- 健全な心身の育成と安全教育の推進 -	パブリック・コメント (40代)	越前市では学校で給食を作っており、子どものために大変ありがたい。給食費無償化になるといいが、保護者負担があってもいいので、美味しく温かい給食を今後も続けてほしい。	今後も引き続き安全安心で栄養バランスの取れたおいしい学校給食の提供を行ってまいります。
16	P23 各論 I-2学校での教育 (8)学びを支える空間づくり - 学校施設の整備と活用 -	教育厚生委員会 (令和6年12月11日)	「学校施設の整備と活用」に学校の適正配置を考慮した内容も含めるべきではないかな。	今後、子どもたちにとって望ましい教育環境についての研究に着手いたしますが、先ずは子どもたちが切磋琢磨できる最適な教育環境のあり方について議論したいと考えております。本議論を受けて、施設整備につきましては、別途議論していきたいと考えております。
17	P23 各論 I-2学校での教育 (8)学びを支える空間づくり - 学校施設の整備と活用 -	パブリック・コメント (30代)	猛暑対策や災害時の避難拠点としての活用のため、小中学校の屋内運動場の空調機の整備は行わないのか。	空調設備を設置するためには、屋根や外壁などの断熱工事も同時に行う必要があります。公共施設の整備や改修について、限られた予算の中で優先順位をつけて計画的に行っているところです。 ほぼ全ての学校が避難場所に指定されていることから、避難所機能の強化を図るとともに、良好な学習環境の確保にも資するため、屋内運動場(体育館)への空調整備に向けた準備を進めたいと考えております。

18	P27～P28 各論 I-3家庭や地域での教育 (2)青少年を地域ぐるみで見守り育む環境づくり	パブリック・コメント (30代)	こどもがインターネットを安全に利用するための取組の一つとして、「わが家のインターネット10ヶ条」の取組を継続して欲しい。	インターネットが生活に必要不可欠なツールとなっている一方で、インターネットに起因する犯罪被害に遭う危険性等が高まっています。 本市としても「わが家のインターネット10ヶ条」を適宜更新しながら、活用し、家庭で話し合い、遵守していただくよう、継続して呼びかけを行うとともに、利用実態を関係機関と共有し、インターネットとの上手な使い方を促進する啓発活動につなげてまいります。
19	P27～P28 各論 I-3家庭や地域での教育 (2)青少年を地域ぐるみで見守り育む環境づくり	パブリック・コメント (40代)	昨今のネット社会の中、中高生等の子ども達が犯罪に巻き込まれるおそれが増えているが、「自分が罪を犯さないための教育」という視点も加えるといいのではないか。	子どもたちがインターネットに係る犯罪に巻き込まれない、罪を犯さないためには、インターネットの使い方のルールなど情報モラルの意識向上が必要不可欠です。本項目においても、情報モラルを学ぶ機会について触れております。また、各種機関と連携し、家庭や地域社会全体での啓発活動も行なってまいります。
20	P31～P32 各論 II-1人生を豊かにする生涯の学び (1)学びが拓く豊かな人づくり	パブリック・コメント (40代)	生涯学習センターの講座で、どうしても行きたい講座があったのに、日程が合わず行けなかった。救済方法を考えてほしい。	講座に参加できなかった場合でも、講師の承諾が得られた資料については、希望される方にお渡ししています。また、一部の講座において、期間限定での動画配信を現在検討しているところです。
21	P33～P34 各論 II-1人生を豊かにする生涯の学び (2)学びでつながるまちづくり	パブリック・コメント (50代)	若年世代の方にも公民館というものを知っていただき、活用していただけるよう、いろいろな機会をとらえて周知して欲しい。	若い世代の方が、地域に目を向けるきっかけとして公民館を活用していただけるよう、地区の広報誌に公民館の活用方法や青年学級など公民館事業を紹介したり、また、二十歳のつどいの実行委員会などの機会をとらえ、青年活動を支援するなどして周知を図ってまいります。

22	P37～P38 各論 Ⅱ-1人生を豊かにする生涯の学び (4)読書による生涯の学び -読書のまちづくりの推進-	パブリック・コメント (60代以上)	読書ボランティアは、定年後も活動できる居場所づくりにもなるため、もっとシニアとの繋がり場を設け、人材の育成を図って欲しい。	読み聞かせボランティア向けの講座の開催やボランティアの方の情報交換の場として図書ボランティア連絡会も毎月実施し、読書に携わる人材育成を図ってまいります。
23	P37 各論 Ⅱ-1人生を豊かにする生涯の学び (4)読書による生涯の学び -読書のまちづくりの推進-	パブリック・コメント (60代以上)	「うちどく」は、読書のまちづくりの一步になり、家庭での教育環境により影響を与えと思う。シニアにとっても、孫への読み聞かせは、滑舌もよくなり、感情を込めることで、認知機能もアップする。	図書館においては、館内の展示、行事、ブックスタート、ブックトーク、団体貸出を推進することで、家庭での読書環境づくりに努めてまいります。また、シニア向けの展示などにおいて絵本の読み聞かせを取り上げるなどして、シニアによる家庭での読書活動の推進も図ってまいります。
24	P37 各論 Ⅱ-1人生を豊かにする生涯の学び (4)読書による生涯の学び -読書のまちづくりの推進-	パブリック・コメント (60代以上)	電子書籍の導入に関しては、まずは大人対象からで、子供にはまだ早いと思う。子供の頃は、本を手にとって選ぶ楽しさや、本を深読みする習慣をつけていってもらいたい。	情報環境の変化が子どもの読書環境に与える影響を把握し、新たな読書手段への対応を検討してまいります。
25	P38 各論 Ⅱ-1人生を豊かにする生涯の学び (4)読書による生涯の学び -読書のまちづくりの推進-	パブリック・コメント (60代以上)	P-38-④-イ …大人の読書に対する意識を啓発…の項に以下の内容について提案します。◎ 朗読活動の推進	図書館では子どもから高齢者まで、様々な年齢層向けの行事を企画実施し、読書推進を図っておりますが、その一環として朗読会についても、更なる充実を図ってまいります。

26	P37～P38 各論 Ⅱ-1人生を豊かにする生涯の学び (4)読書による生涯の学び -読書のまちづくりの推進-	パブリック・コメント (30 代)	今立図書館に、中央図書館のような子どもに読み聞かせがしやすいような部屋やブースを作って欲しい。	今立図書館の児童室には、本を並べた書架や閲覧席を設けていますが、さらに読み聞かせしやすいスペースのあり方について今後検討してまいります。
27	P41 各論 Ⅱ-2生涯スポーツで誰もが元気に幸せ実感 (1)人生100年時代、居場所と舞台づくりの推進	パブリック・コメント (60 代)	「生涯にわたってスポーツや運動に親しむことができる機会を充実させていきます」に、スポーツに「親しむ」にも意味を持たせていただけないか。	「生涯にわたってスポーツや運動に親しむことができる機会を充実させていきます」を、「スポーツを「する・みる・ささえる」ことができる環境づくりを進め、生涯にわたってスポーツや運動に親しむことができる機会を充実させていきます」に修正します。
28	P41～P42 各論 Ⅱ-2生涯スポーツで誰もが元気に幸せ実感 (1)人生100年時代、居場所と舞台づくりの推進	パブリック・コメント (60 代)	スポーツ指導者が公認スポーツ指導者資格、メンタルトレーナー資格を取るような指導、助成を行って欲しい。	指導者のスキルアップについては、今後も市スポーツ協会やスポーツ指導者協議会等との連携を図りながら、研修会の開催などを通じて、指導者の増加と資質向上に繋がる取り組みを進めていきます。
29	P41 各論 Ⅱ-2生涯スポーツで誰もが元気に幸せ実感 (1)人生100年時代、居場所と舞台づくりの推進	改定委員会 (令和6年11月5日)	「活動の居場所と舞台づくりの推進」とあるが、この「舞台づくり」という言葉に込められた思いは何か。	スポーツで活躍する舞台、活躍できる舞台と捉えています。よりわかりやすいように「活躍の舞台」と修正いたします。

30	P44 各論 Ⅱ-2生涯スポーツで 誰もが元気に幸せ実 感 (3)スポーツ施設の環 境整備	パブリック・コメント (60代)	スポーツ観戦が快適に行える 「観覧席(可動席)」の設置に ついてひとこと触れていただ けたら嬉しい。	武生中央公園内の総合体育館や庭球場などの施設で は、競技観戦のための観覧席を設けていますが、これ らの施設や他のスポーツ施設において、新たに観覧席 (可動席)を設置することは、施設のスペースの都合に より困難です。各スポーツ施設の利用状況に応じて、 観戦のための簡易イス等の整備を進めてまいります。
31	P44 各論 Ⅱ-2生涯スポーツで 誰もが元気に幸せ実 感 (3)スポーツ施設の環 境整備	パブリック・コメント (60代)	身近な体育館、武道館、今立 体育センターなど室内競技所 へ空調機器を導入して欲し い。	空調設備を設置には相応な経費が必要とされることか ら、予算の確保が大きな課題となっています。今後も、 各施設での効率的な整備のあり方などについて、継続 的に研究していきます。
32	P44 各論 Ⅱ-2生涯スポーツで 誰もが元気に幸せ実 感 (3)スポーツ施設の環 境整備	パブリック・コメント (60代)	子育て世代の女性がスポー ツに取り組めるよう育児所、 託児所の設置を考えてはどう か。	託児所などについては、施設のスペースや対応スタッ フの確保などの課題もあることから、設置することは困難 な状況です。今後も、子育て世代の方をはじめとして、 家族や親子が気軽に一緒になってスポーツに親しむこ とができる教室やイベント等の開催を通じて、ファミリ ースポーツの機会の提供を進めていきます。
33	P44 各論 Ⅱ-2生涯スポーツで 誰もが元気に幸せ実 感 (3)スポーツ施設の環 境整備	パブリック・コメント (60代)	越前たけふ駅周辺エリアでの サイクリングステーションの整 備と同時にサイクリングコー スの整備も行って欲しい。	越前たけふ駅周辺は、今後幅広い世代の方による多く の交流が期待できるエリアと考えています。スポーツツ ーリズムの推進のための自転車の駅(サイクリングステ ーション)の整備にあたっては、サイクリングコースの整 備についても検討しています。
34	P44 各論 Ⅱ-2生涯スポーツで 誰もが元気に幸せ実 感	パブリック・コメント (60代)	全てのスポーツ施設の年間メ ンテナンス等の計画を立て、 施設の長寿命化を図って欲 しい。	より良いスポーツ環境を継続的に市民に提供するため の施設の適切な配置や長寿命化・更新等に関しては、 本ビジョンと関連する計画である「第2期市スポーツ施 設再配置計画」に基づきながら事業を実施していきま

	(3)スポーツ施設の環境整備			す。
35	P47 各論 Ⅲ-1歴史・文化資源の保存・公開と活用	改定委員会 (令和6年11月5日)	教育振興ビジョンはソフト面が非常に大きいですが、文化振興分科会の部分は歴史が基盤としてあり、形には見えないがモノがある。それを基盤として我々の共同体が成り立っている。歴史的な基盤の上に共同体のつながりがあることが大事であるという視点を入れてほしい。	Ⅲ-1 の最初の書き出し部分に、「歴史や文化は、地域をつなぎ育ててきた大切な基盤です。」の文章を追記します。
36	P48 各論 Ⅲ-1歴史・文化資源の保存・公開と活用 (2) 歴史文化に触れる機会の提供	パブリック・コメント (60 代)	市の貴重な歴史・文化資源を市民に知ってもらうために、例えば山城、文化財、神社、仏閣等の歴史マップの制作など、もっと市民へ周知する工夫をしてほしい。	市民の方々に地域の歴史や文化資源をよく知っていただくために、出前講座で直接地域に出向いて紹介する機会を設けたり、えちぜん市民大学での講座や図書館での企画展示などを活用していきたいと考えています。
37	P49～P51 各論 Ⅲ-2豊かな心を育む 芸術文化活動	教育厚生委員会 (令和6年12月11日)	音楽のことがクラシックに限られ、ポピュラーソング、ライトミュージックのことが取り上げられていないのではないかな。	本ビジョンでは、音楽のジャンルは限定せず、全般について述べています。ジャンルを問わず、音楽は、人生を豊かにするものであり、地域の方が気軽にその演奏を聞き、慣れ親しむ機会を創出していくことで潤いがあるふるさとづくりを推進してまいります。
38	P49～P51 各論 Ⅲ-2豊かな心を育む 芸術文化活動	教育厚生委員会 (令和6年12月11日)	演出における音響や照明、舞台装置など、サポートする人にも目を向けていただきたい。	ひとつの舞台が完成するまでには、舞台に出演する人以外にも、設備操作など、舞台の裏で支える人の技術や努力があって成立しています。 本市では、普段は見えないホールの舞台裏の照明や音響機器の操作を体験できる探検ツアーを開催する

				など、舞台の重要な役割を担う舞台裏スタッフの仕事を知ってもらう機会を設けております。引き続き、芸術文化への関心につながる取り組みを進めてまいります。
39	概要版	教育厚生委員会 (令和6年12月11日)	子どもの横の連携づくり(友情や仲間づくり)のことは、本ビジョンの大前提になっていることだと思うので、概要版でも強調してほしい。	今回の改定にあたっては、より多くの市民の方に読んでいただけるよう、目指す姿等がイメージしやすい項目名を基本方針に示しておりますが、例えば、「ともに学ぶ学校づくり」や「青少年を地域ぐるみで見守り育む環境づくり」、「学びでつながるまちづくり」など、人と人のつながりの大切さを項目名でも表すようにしております。